

今年も熱狂の夏が来た！
エゾ地の火まつり開催

8月14日、上ノ国の夏を彩る一大イベント「エゾ地の火まつり」が今年も上ノ国小学校グラウンドにて開催されました。

夏の日差しが照り付けるなか、開会の挨拶とともに始まった火まつり昼の部は、ドリカムのそっくりさん芸人「吉田みゃあ」さんのものまねライブが先陣を切ってスタートし、本物と見間違い聞き間違えほどのライブパフォーマンスに、ステージ前には会場で配られたカミゴンうちわを振る観客が集まり、本物のライブさながらの盛り上がりを見せていました。

そして、毎年恒例となっている昼の部最大のイベント「真夏のクイズまつり」にも、豪華景品を目



当てに大勢がステージ前に集結し、出題される様々なクイズに挑戦しました。

そのなかで、去年に引き続きエゾ地の火まつりの地縛霊と称する妖怪「ジバさん」が登場し、新たに現れた謎のモンスター「カミミンゴ」と相撲対決を繰り広げるなど、オリジナルキャラクターが先の読めないクイズを出題して盛り上げる様子は見応え抜群でした。

また、少年団チームなどが多数参加して熱く競い合った『2016水合戦選手権U-12』や帰省客の参加が目立った『よせてあててゲート&パーク』、地元出身者の生ライブなど、夏の日差しの下で様々な催しと勝負が繰り広げられたほか、会場の外で特別巡行を行っていた大留・北村・上ノ国地区の山車が、夜の部に合わせ会場へと集結し、賑やかな祭囃子を披

露していました。

夜の部が始まると、会場でスケボー等の体験会を行っていた『ダイヤモンドランブ』によるスケートショーや今年のYOSAKOIソーラン祭ファイナルで優秀賞を獲得した『北海道大学「緑」』による若さと元気あふれる大迫力の演武が披露され、『みんなで騒ごう上ノ国音頭』では、踊りの輪に来場者が次々と加わると、早くも会場の雰囲気は最高潮に達していました。

クライマックスを迎えた会場では、上ノ国鼓友会『龍焰太鼓』の演奏が始まり、火まつりを象徴する8本の巨大たいまつが赤々と燃えさかると、1500発の花火「天の川ドラゴンファンタジー」が上ノ国の夜空に大輪の華を咲かせて、今年の火まつりも来場者それぞれに大きな余韻を残しながら幕を閉じました。

傳げに、夏を輝く、蛍の光

8月上旬から、町内各所でホタルが散見されています。

昨年、大留の中心にあるパチンコ店裏の湿地で確認されたことが新聞等で話題になりましたが、今年も同様に町内各所でその光を見ることができました。

大留地区のほか、新村地区の水田や目名川でホタルが確認でき、頭の形が場所によって違うことから、ゲンジボタルやヘイケボタルなど複数種類が混在しているのではないかと言われています。

近年、自然環境の変化などからめつきりと数を減らしてしまったホタルですが、水の綺麗な場所にはいまだ生息しており、夏の風情を伝えるように儚く瞬いています。

